

お願い。「思い出し事例」をお送り下さい。

以下、「思い出し事例」の具体例をひとつ上げ、

ついで事例に備えられていて欲しい要件を列挙します。

それにつづけて、そのようなものが欲しい理由と使い方を説明し、さらに

頂いた事例の取り扱い、いささかの「こつ」、事例をお送りいただきたいメールアドレス、そして、

この件に関して最近いろいろ考えていることを書いて公開したメモの所在を記します。 石黒真木夫

具体例

広尾のサンドイッチの店の名前を思い出した事例の記録です。記録を作ったのは 2022/11/25 です。

うちの近くのドイツパンの店の新聞広告を見たところからはじまって、広尾のフロインドリーブの話になって、お気に入りのサンドイッチ店の名前が思い出せないのに気づきました。

日比谷線広尾駅から南部坂に行く途中の麻布スーパーの手前の右手にあった店のたたずまいとか、店内のイメージが鮮明で、支店が東京駅の中の地下街にあってそちらに行くたびにパンを買って帰ることにしていたのに店の名前が思い出せなかったのです。

風変りな名前でフランスっぽい音だったような気がするけれどさっぱり分かりません。例によって「あいうえお。。。とやってみているうちに「ブ」のところで「なつかしい」とでもいうような感覚を覚えました。それで「ブ、ブ、ブ」と考えていたらひょっこり「ブルディガラ」が出てきました。ネットで検索すれば確認できるだろうと思いますが、その必要は全く感じません。「なつかしい」というのは正確な表現ではありませんが、この「なんとなく正解が間近にある」感が不思議です。ことばが「のどまで出かかっている」という言い方があります。「発声」という筋肉運動の記憶のありかたと名前やことばの記憶のありかたがどこかでつながっているような気がします。

事例が備えていることが望ましい要件

知っている「はず」のことが思い出せなくて、思い出そうとして成功した事例。

できれば、

- A. 思い出せないことがあるのに気づいたきっかけ、
- B. 思い出せないことに関連しそうな記憶のあれこれ
- C. 思い出そうとして試みた努力のあれこれ
- D. 思い出すまでにかかった時間。
- E. 思い出せたきっかけ。脈絡もなく思い出す場合も含めて。
- F. 思い出しが確実であるとの確信の度合。
- G. 思い出したことの正否、思い出せたと思ったのが間違いであることも多々あるので。。

も記録されていることが望ましい。

ちなみに、前スライドの事例は D と G 以外の要点をクリアしています。

しかし、すべての要件が揃ってなくていいのです。たとえば「きっかけ」は「ふと、」でいいのです。

具体例ではなぜ思い出せたのかを考えて記録していますが、このような考察はなくて OK です。

このような事例を集めたい理由

そもそも最終目的として、「心理的現象」が脳における「物理的現象」とどう関係しているのかが知りたいのです。

具体的には、たとえば、脳内神経回路の「ブルディガラモジュール」が活動を開始したとたんに「ブルディガラ」の思い出しが体験されるというような理解ができるようになりたいのです。

しかし、知っているはずのことを忘れているのに気づいてそれを思い出す、ということを実験室で再現するのは難しい。たまたまそういうことが起きた瞬間の脳活動が観測できないといけません。

そして、それが出来て、「XXXXXX」という名を忘れていてそれを思い出すということを経験する人はそもそも多くなく、何人かいたとしても、その人たちそれぞれの「XXXXXX モジュール」がどこにあるかはばらばらだと思われます。思い出しのきっかけもばらばらでしょう。

ですから、脳内活動の高精度記録が得られたとしてもそのなかから特定の記憶「XXXXXX」想起の原因となっている活動を見つけたのは至難の業です。しかし、記憶の構造が把握できればその構造を手掛かりに活動部位を探すことができる可能性があります。

とにかく、なにかを思い出そうとして思い出したという事例をできるだけ多く集めてそれらに共通に含まれる構造を探すことから始める以外に合理的方法がないように思われるのです。

「心理的現象が脳における物理的現象とどう関係しているのか」が知りたい理由は説明不用でしょう。

思い出しの「こつ」と頂いた情報の取りつかい

思い出しの「こつ」はただ一つ。ネットでの検索をがまんすることです。思い出せそうで思い出せないという気分は不快でつい検索したくなりますが、それをがまんする。突然思い出したときの嬉しさは大きいです。

頂いた事例は、原則として、個別に公開することなく統計的に処理した形でのみ公開する予定ですが、場合によっては具体的事例として引用させていただきたくなる可能性があります。そのような場合、ご連絡さしあげて取り扱いをご相談させていただきます。

もちろん、事例中に固有名詞が含まれるような場合には仮名にするなどして個人情報漏洩にならぬよう注意を払います。

送付先と参考情報の所在

「思い出し」の記録は ishiguro@ism.ac.jp あてのメールでお知らせください。

この件に関して考えたことを記したメモ「[物理学と心理学の統合に向けての統計学的アプローチ](http://hdl.handle.net/10787/0002000136)」を統計数理研究所機関リポジトリで公開してますので、興味がありましたら御覧ください (<http://hdl.handle.net/10787/0002000136>)。